

(別記様式第3号)

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博(医)甲第1216号	氏名	大庭康司郎
論文審査担当者		主査教授 田口 尚	副査教授 兼松隆之
		副査教授 石丸忠之	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 本研究は腎細胞癌の進展における urokinase-type plasminogen activator (uPA) system と tumor-associated macrophage(TAM)の関与を予後との相関において検討したものであり、研究の目的は妥当である。</p>			
<p>2. 研究手法に関する評価 腎細胞癌の手術症例106例を用いて、uPA, そのレセプタ・(uPAR)とインヒビター(PAI-1, PAI-2)、および TAM の発現を免疫組織化学的に検討し、病期、異型度および予後との相関を比較検討したものであり、その研究手法は妥当である。</p>			
<p>3. 解析考察の評価 上記手法で解析した結果、uPA およびその関連蛋白の発現は細胞異型度の強さや転移の有無と関連しており、癌特異生存率の短縮を示したが、PAI-2 の関与はみられなかった。また、多変量解析では PAI-1 のみが生存率と相関しており、その発現は TAM と関連することが示唆された。uPA system の癌進展における役割や予後への影響をを考慮する上で重要な所見であり、高く評価される。</p>			
<p>以上のように本論文は腎細胞癌の進展機序の解明に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと。